



「じゃがいものうち」通信 NO.65 2010.6.28

～障害者と共に生きる仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel./Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL: <http://www.minc.ne.jp/~npo-jaga> 代表 楯篤雄



喫茶で働く鹿島浩二さん

初心を忘れず、志を強く

今年度より理事長になりました。至らぬ者ですが皆様のご指導を仰ぎながら努めさせていただきます。

「じゃがいものうち」は心や身体にどんな障害があっても安心して健康に暮らせることを目標に、12年前の1998年2月にスタートしました。屋久島の障害者福祉の充実を目指して、職業、年齢、性別、思想、宗教の枠を超え、仲間達と心をつなげて取り組んできました。

誰もが生業を持ちながら、自分の為の時間をちょっと横に置いて、少しずつではありますが活動を続け、拠点建設、療育の場作り、法人化、高齢者と障害者のミニデイサービス「みんなのうちに」設立などの活動を重ねてきました。

かけた時間の割には表だった成果は少なく見えます。また我々の活動がなかなか具体的にないものどかしさを感じ、「挫折してしまうのでは」と感じることもありました。

たとえば、障害者のグループホームを作りたいと思っても、屋久島では前例もなく、参考になる事例も少ないため、自ら賛同者を募り、手探りの状態で行政などに働きかけなければなりません。これらの取り組みは、すでにある物を向上発展させる事ではなく、何も無い「0」から「1」を産み出す作業であり、そのため乗り越えなければならない多くの壁や費やさなければならない長い長い下積みが必要です。目に見えない、表に出ない取り組みでも、とても重要なことだと、ふり返り感ずるところです。

人の心は弱く、一人突き進めば孤立感に苛まれ、ときに折れそうになり、投げ出したくもなる。そんな弱い人の集まりです。そのことをまず自らが認め、互いを認め、雨風強ければ立ち止まり、晴れたらまた歩き出す。それでいいじゃないでしょうか。

今年度の事業計画の中に、「屋久島町障害者福祉連合会への参画」があります。屋久島町の各障害者団体が集まり、今までの単団体での活動に加え、必要とされる福祉環境の整備を集中させ、連合会として取り組むことになりました。各団体をまとめた大きな力で、みんなで取り組んでゆくことになりました。「じゃがいものうち」も加わり今までの経験を生かして活動してゆこうと思っています。

私達の“夢”実現に向けこれからも「初心を忘れず、志を強く」活動を続けていきたいと思います。

これまで8年もの長い間「じゃがいものうち」を先導して頂いた松田前理事長に、御苦労様と厚く感謝の意を表します。ありがとうございました。

(楯 篤雄)

「みんなのおうち」コーナー

新スタッフです！よろしくお願いします。

今年の4月より、「みんなのおうち」の管理者として働くことになりました梶野です。

屋久島へ来て3ヵ月、「みんなのおうち」で働くようになって2ヵ月、あっという間に時が過ぎていきました。

以前の仕事とは一転し、介護に携わることになり、正直不安でいっぱいでした。一時期、プレッシャーからか神経過敏になってしまいましたが、スタッフの何気ない言葉と利用者さんとの携わりの中でのこちよさで救われました。

私自身、ちょっと力みすぎていたのかも知れません。今も少し力んでいます。スタッフやボランティアの方々にアドバイスをいただき、今日に至っております。

今、利用者さんの自立や維持のお手伝いをしながら、私自身も利用者さんよりパワーをいただいております。利用者さんとスタッフ共に、互いの活性化になればいいなと思っております。

(梶野かおり)



5月よりスタッフとなりました二宮です。5年半のヘルパーの経験があるものの、デイサービスという職場や生活相談員として利用者さんやご家族からお話を伺うのは初めてです。一か月位はグルグル回っているだけで、自分でも何をやっているのか分からない状態で、皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしたことと思っております。

また、スタッフやボランティアの方々にもあたたかくまたキビシイ(?)お言葉も頂きながら日々精進いたしております。(^^)b

そんなあわただしい中、利用者さんの方から「なんかココ明るくなってきたんちゃう?!」「ココはきっと良くなりますよ、そんな予感がします。」との声をかけて頂くようになり、胸がジーンと暖かくなって来る今日この頃。

これからもどんどん楽しい「みんなのおうち」になるよう力を合わせていきたいと思っております。よろしくお願いします。(二宮志代里)

屋久島に来る前、実家の福岡で調理の仕事をしていた時は、大きい施設でしたので、調理する場所はきちっと区切られ、入居者や利用者の方々は顔を合わせる程度でした。

「みんなのおうち」では家庭の台所で調理するような感じですので、目の前には利用される方々やボランティア、スタッフがそれぞれ活動しているので今までとは違う雰囲気や一体感のようなものを感じます。

同じ年齢の水生輪さんや祖父や祖母と年の近い方とお話させて頂くと話の内容だけではなく、その場の暖かい雰囲気にも感激します。

まだまだ人生も調理技術も未熟ですが、「みんなのおうち」のスタッフとして加わった以上、美味しい昼食を提供できるように努力したいと思います。

また、調理だけでなく皆さんの話し相手や麻雀相手になれるようになりたいです。

これからよろしくお願いします。(鈴木由美)

5月から週に一回、お昼ごはんを作っています。「みんなのおうち」に合うものを作れるよう頑張っています!!

(野口美恵子)

私たちも引き続き頑張っています。

(長瀬富美子、高山宏子)



☆ありがとうございました。

松田正さん(3月31日退職)

立ち上げから今までのご尽力に感謝いたします。ありがとうございました。

長谷部なほ子さん(4月30日退職)

スタッフとして和やかな雰囲気作りありがとうございました。

みんなのおうち誕生日会開催!

6月23日(水)、浩三さん(90歳)をはじめ、ボランティア、スタッフ5名の誕生日を一挙に祝福しました。艶やかな着物姿のユキ子さんと友人の芳子さんが唄に踊りに華を添え、貞子さんがキリリとアリランを舞い、浩三さん自ら美声で米山甚句を唄う・・・と芸達者の面々が場を盛り上げてくれました。

スタッフ自慢の料理に稲場さんの手作りパン、元スタッフのなほ子さんの特注ケーキも加わった“ご馳走”も満喫。皆様のご尽力によって楽しい誕生会となりました。感謝♥♥♥



私達の未来のために!!

屋久島町障害福祉連合会を『つくり』ました

「作る」「造る」「創る」.....。「つくる」にも、様々な意味や、それにかかわる人の思いがあります。「野菜を...」「プラモデルを...」「家を...」「ロケットを...」「子どもを...」「宇宙を...」等のように。

屋久島にある、知的、身障、精神の3つ障害者の団体と、就学前の幼児を持つ親の団体とNPO法人「じゃがいものおうち」との5つが集まって、その上部組織として新たに1つの団体～屋久島町障害福祉連合会～を「つくり」ました。

この連合会が目指すものは、障害児・者の『夢』『希望』を現実のものにすること。障害児・者が、家族や友達がいる、そしてたくさんの思いがある「屋久島」で、楽しく暮らせるように応援することです。多くの皆様の、さらなるご理解とご協力をお願いいたします。(大山正典)

2010年度 総会報告

2010年5月16日(日)午後1時より、屋久島町役場尾之間支所(町民ラウンジ)において、2010年度総会が開催されました。

出席者は、一般会員数67名のところ当日の出席者24名、委任状による書面提出者29名、計53名の方々でした。

熱心に議案の審議が行われ、下記のすべての案件は満場一致で承認されましたので、新年度に向けた活動が本格的にスタートしました。

記

- | | |
|-------|--|
| 第1号議案 | 2009年度活動報告
2009年度会計報告
2009年度会計監査報告 |
| 第2号議案 | 役員改選(理事・監事) |
| 第3号議案 | 2010年度事業計画(案)
2010年度予算(案) |

その他

○新役員紹介(任期は2年)

理事(再任) 楯 篤雄、高見澤義男、藤山倉作
(新任) 鈴木義之、大山正典

監事(再任) 岩川六男

○理事会(5/26) 正・副理事長決まる。

理事長: 楯 篤 雄

副理事長: 高見澤義男

【主な質疑】

理事会の審議状況(みんなのおうち関連)の確認と「じゃがいものおうち」(みんなのおうち)は地域に密着した更なる展開が必要、収支報告様式の見直し、寄付をしたタンカンジュースの会計処理及びその経緯と販売促進の効果並びに缶対応による安全性等の確認、管理費(雑給)及び助成金の内容等々、多くの質疑が時間を超えて熱心に行われました。

なお、その他質疑(みんなのおうち関連)で、事業のあり方や休職に関することについて、長い話し合いとなりましたが、数々の意見や考え方など大変参考となりました。今後の会の運営にいかしていきたいと思っております。ありがとうございました。

最後に、長年理事長を務めて頂いた「松田さん」へ感謝の気持ちを込めて花束及び記念品の贈呈を行いました。

予定時間を大幅オーバーとなり遅くなりましたこと、改めてお詫びいたします。

退任者 理事(理事長) 松田 正

理事 渡辺一夫

長い間ありがとうございました。

これからもよろしくお願ひします。

安房小との福祉交流

本年度も安房小との福祉交流が計画されました。昨年までは6年生を対象としていましたが、今年は4年生を対象にしました。そうすれば5年生6年生となっても校舎の中で出会う機会もあり、より交流が継続されることとなります。早速6月6日には日曜参観があり、そこで聴覚障害者との交流が行われました。

安房小4年生の親子と手話の出会い ～「手話を教えてください。」～



わたしが、手話と出会ったのは、3年前でした。神山小4年生担任の時、総合学習の中の「福祉」の学習の取り組みを子どもたちと考えたときでした。それまで手話の学習というと、「この言葉の手話は、こうするのですよ。」という方法の学習でしたが、冬子さんとの学習では、良樹さんとのコミュニケーションの手段として、手話を使う物でした。二人が楽しそうに手話で会話をしているのを見ているだけで、人とつながることのできるあたたかさを感じることができました。

今年、久しぶりに4年生を担当。今年から4年生が福祉の学習を総合で取り組む事になり、せっかくだからたくさんの人に手話を知ってもらいたいと思いました。そこで、日曜参観での

授業として、家族で手話に取り組む事にしました。今回は、冬子さんと、今年1月に屋久島に来られた中村さんが、教えて下さることになりました。

中村さんは、ご自身が難聴であり、子どもさんも生まれつき難聴である方です。

授業のはじめに、中村さんの話を聞かせて頂きました。「子どもが、生まれつき耳に不自由を持ったと聞いたときから、一年間泣き続けました。」の言葉に、子どもたちも親たちも中村さんに釘付けになりました。何度も目から涙を表す手話を続ける右手の寂しさにくっ胸がいっぱいになりました。

「今日は一緒に手話をしましょう。」の中村さんの声で手話を始めました。

最初は、挨拶や日頃よく使いそうな手話を教えていただきました。「悲しい」「おいしい」

「ごめんなさい」「すき・きれい」など感情を表すときには、顔の表情をつけて手話をすることを教えていただくと、ちょっぴり照れくさそうにしていました。

その後、「他に知りたい手話がありますか？」と聞かれた子どもたちは、次々に自分達が好きな事の手話を聞きました。「サッカー」「ソフトボール」「マーチング」「剣道」「サメ」「ともだち」。

中村さんの説明と冬子さんのサポートで、手話の形の意味を教えていただきながら、練習しました。すると、一人のおとうさんが、『「何か手伝うことはありませんか？」の手話を教えてください。』の声。4つの手話をつなげてするのですが、何回も繰り返し練習をしていました。教えていただいた手話を黒板に書いていくと、20個以上の言葉が並びました。一つでも覚えてほしいと思ったので、親子で好きな手話を発表することにしました。人気だったのは、「ゲーム」「サッカー」「友だち」。中には、自分で手話を組み合わせて、「ゲーム好き」「なかよくしたい」と発表する家族もありました。

最後に、「たいせつないのち」という歌を手話をつけてお礼に歌いました。3番までの曲で、繰り返しの部分があるのですが、子どもたちの手話をみていた保護者も一緒に手話をしてくれました。約70名の心がくっ近づいた感じがした時間でした。

その日の帰りの会の時、一人の男の子が、わたしの肩をたたきました。振り向くと、「何か手伝うことはありませんか。」と手話でしてくれました。そのうれしそうな顔。わたしも「ありがとう」と手話でお礼を言いました。手話がつないでくれた心の温かさ。このつながりが屋久島に広がってほしい!!

安房小4年生は、手話の学習を続けていきたいと思っています。

(安房小教諭・渡邊安美)



うこん・がじゅつ収穫、植付け

4月28日(水)天候不順で日程が延び延びになり、人の手配が難しく育成会の「水曜活動」メンバーで終わらせました。昨年植え付け時期を間違え収穫量は少ないと思っていましたが、植え付け面積の勘違いで広く植えすぎたことでほどほどの収穫量でした。

ガジュツは除草が遅れて収穫量が少なく、来年の種用が足りなくなり、あちこち知人を訪ねたところ小島の溝口栄作さんから、「じゃがいものうち」ならということで快く提供して頂き、植え付けを終了しました。原料の加工も5月の連休は好天続きで無事乾燥まで終わりました。皆様ご苦労様でした。

豚味噌作り

豚味噌はなかなかの人気で予想を超えて売れています。今年度に入り、もう2回製造(4月23日・5月20日)しました。これから夏のシーズンに向け、さらに製造回数が増えてくると思います。障害者の自立支援事業として、年間を通した有力な作業となるでしょう。

会員の皆様、販売促進に努めて下さい。私達はひたすら喜びを感じながら作り続けます。

■しゃくなげ未来館との交流会

6月23日(水)恒例の「じゃがいものうち」&「手をつなぐ育成会」&「しゃくなげ未来館」との交流会を開催しました。10時から安房体育館で猛獣ゲームや風船バレーによる対抗戦を行い、かけ声や舌戦の中、年齢を感じさせない回転レシーブなど、ハッスルプレー続出!勝敗はともかく大汗をかきながら大いに楽しみました。お昼からはしゃくなげ未来館でみんなの大好きなカレーライスや特製サラダなどを堪能し、カラオケで自慢の歌を披露するなど、楽しい交流会となりました。



■おおぼらかい

・3月23日(火)茶話会(21名参加)
久々に多数の参加があり、小笠原さんの快気祝い&新会員紹介、楽器演奏や歌などで大いに盛り上がり、楽しい一日となりました。

・4月27日(火)茶話会(16名参加)
いつものことながら、沢山の差し入れを頂き、ありがとうございました。
今回はカードを使ったゲームなどで大変楽しい雰囲気の中、差し入れのケーキ&パンなどをコーヒー、紅茶とともに、美味しく頂きました。

・5月25日(火)茶話会(12名参加)
「シドッティと私」語りべ 古居智子さん
小島在住で島の暮らし、歴史、自然をテーマに多くの書物を出版され、活躍中の古居智子さんに、素晴らしいお話を聞く事ができました。300年前、イタリアから屋久島にやって来た一人の神父「シドッティ」の数奇な運命を絵などを使い、紙芝居風に分かり易く楽しく語ってくれました。皆さん往時にタイムスリップしたかの様に熱心に聞き入っていました。有意義な一日でした。

図書紹介「密行」最後の伴天連シドッティ
新人物往来社刊(1,800円税別 全国書店で販売中)

“じゃがいものうちでも販売しています”

・6月22日(火)茶話会(18名参加)
今回は塚田さん持参の慶応元年頃の坂本龍馬や西郷隆盛、大久保利通等が一同に会した写真を見ながら、よくぞこの様なものが残っていたものだと皆さん関心しきり、ゲームなどを交え、楽しい会となりました。



行事予定



おおぼらかい（毎月第4火曜日「みんなのおうち」）

尾之間温泉まつり 7月31日（土）

準備作業 ジャがころの皮むき作業は、当日の午後1時より行います。
いつもの様に、包丁・まな板を持参して下さい。

出店担当者は清潔な服装、三角巾又はスカーフとエプロンやはっぴを持参してください。
尚、出店準備は午後5時から始まります。

出店品目 ジャがころ、たんかんジュース、綿菓子、かき氷、お茶、他

お楽しみ感謝祭 8月29日（日）正午～

今年も春先から農作業、ジュース作り、総会準備等々相変わらずとハードな日々を過ごして来ました。そして次から次へと迫ってくる作業に少々お疲れではありませんか。ここらでひといき入れましょう。

そこで、皆さんへの感謝の気持ちと、じゃがいものおうちの拠点開設10周年を迎えますことを記念し、昨年に続き『お楽しみ感謝祭』を計画しております。奮って参加願います。

“皆さんで、得意の歌や踊りなど隠し芸を披露して楽しみましょう。主役はあなたです！”

追って担当者からのお誘いがあると思えます。

「じゃがいものおうち倉庫」片付け隊募集！！

じゃがいものおうちの様々な備品、材料、道具、リサイクル品などをおいている倉庫が、旧屋久町の焼却場にあります、ここ数年来、数々の物品が徐々に増えて、整理と片付けが必要になっています。整理棚を作ったり、必要な物と不必要な物を分ける作業を致しますので多数の参加をお願い致します。

日時 7月18日（日）AM 9：00～PM 4：00

持ち物 お弁当、お茶、軍手、マスク、庭ぼうき。

休憩の茶菓はこちらで準備いたします。

参加者は「じゃがいものおうち」（47-3588）までご連絡下さい。



街角情報コーナー 「3年目を迎えて」

考えますれば、平成22年4月に開設されました。障害者就労継続支援事業所「屋久の郷」も地域の皆様や関係各所の御理解と御協力に依り、早いもので3年目を迎えることが出来ました。利用者の方も開所当初より5割程度増え、施設内では明るく賑やかな声かとびかっています。

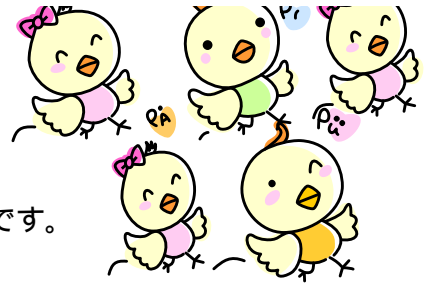
「屋久の郷」は、障害を持った方が日々楽しく働きながら一般就労を目指す場として設立されました。



木工部門、パン部門、レストラン部門から成り、それぞれの方が各自の作業に熱心に取り組んで居ます。

本年度は、手狭になりましたパン部門の作業場拡張工事や新しい作業科目などの施設整備が計画されており、充実した支援が出来るものと信じて居ますし、私達職員一同も利用者の方々が、楽しく笑顔で施設をご利用していただきますよう、努力を重ねて参りますので、尚一層の御理解と御協力を賜りたくお願いいたします。

（障害者就労継続支援事業所「屋久の郷」 施設長 南 昌伸）



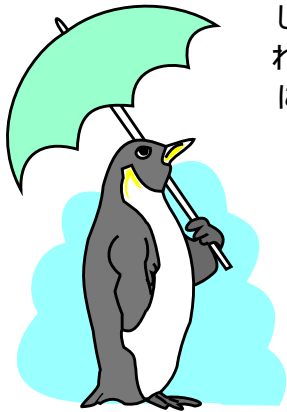
「拠点10歳おめでとう」のまき

「じゃがいものおうち」の拠点が建てられてから10年になるそうです。

皆さんは10年前、どんな日々を過ごされておりましたか？

私たち家族は10年前に屋久島に越して来ました。

それから1年半は自分たちの家作りをしていました。その家作りが「ぼちぼちいいか〜」と、なってから、「じゃがいものおうち」の仲間に入れていただきましたので、残念ながら、拠点建設のお手伝いはしていません。しかし、「じゃがいものおうち」の守り神である屋根の上の風神様と雷神様を描く際にはお手伝いさせていただきました。その頃の「じゃがいものおうち」には、小さい子どもたちがたくさんいたものです。ジャガイモ掘りに来ては、たいしてイモ拾いはせずに長靴に畑の泥をつめて遊び、たんかんジュース作りに来ては「疲れたあ疲れたあ」と文句ばかり言い、祭りの出店の際には何度も何度も「あと百円だけちょうだい」と傍らでうるさく言い、、、そんな子どもたちがたくさんいたもので、ぶつくさ言うお母さんとその子どもたちのやりとりが微笑ましく、活気にあふれていたものです。そうそう、サマーキャンプも開かれていましたね。しかし時間が経ち、子どもらも中学生に近くなると、親にくっついて出かけなくなってしまいます。「じゃがいものおうち」の活動でも、悪たれな子どもの姿はめっきり減ってしまい、ここ数年は、なんとも寂しい状態が続いています。屋根の上の風神様と雷神様も、だいぶ若々しさが薄らいで来ました。



しかし、近年「じゃがいものおうち」はベビーブーム！これから何かしでかしてくれるであろうチビチビたちが、何人が控えています。うちのまんなかの息子(小4)にいたっては、「じゃがいものおうち」で出店している射的ゲームの売り上げの大半に貢献してしまうという武勇伝の持ち主！チビチビたちの大先生になる素質ばっちり！夏祭りの射的に向け、小遣い稼ぎに精を出す事でしょう。

私が屋久島に来た理由は「あるがまま」を求めて。こんな子どもたちのあるがままの姿をととても愛おしく感じます。

(鈴木裕子)

会員の更新、新規加入ありがとうございました (50音順 敬称略 6月27日現在)

いつも温かいご支援ありがとうございます。

お陰様で私達の活動の原動力となっております。

■一般会員 (家族会員)

安藤多鶴子 石田尾拓夫 井原広悦 大原貞子 大山正典 小笠原勝弘 小笠原のぞみ 小川裕子
鹿島浩二 桑山道子・善右衛門 相良知恵 四宮英代・岸楨子 柴田矢恵 鈴木捷二郎 鈴木義之
鈴木裕子 須原光伸 高見澤義男・信裕 高山宏子 立花敬麗・幸枝 楯篤雄・陽子・水生輪
田中洋 谷本正和 塚田哲夫・君江 中井喜恵子 永田能彦 沼田澄江・そらみ 畑下辰治・和子
星野京 羽田順子 日高冬子 藤山倉作・由美子 古屋浩三・芳子 松田正・咲美 松本活栄
峰平耕典 蓑田理子 山本晃司 吉田克雄・照子 渡辺一夫・まみよ 渡邊安美

■賛助会員

飯塚伸子 稲場輝雄 井上正勝 岩川絹子 岩川ミヤ 得平悦子 大垣千鶴 太田美代子 加藤章
大山盛弘 岡村和子 金子英一 川上雄治 川崎君子 神崎孝行 小林浩治 斎藤恵 笹川芳子
田中和彦・ヤスヨ 戸床マサ子 浪平幸枝 西迫貴子 日高イツ 日高新治 日高仁 日高ユキ子
日高ヨリ 福嶋禮子 藤井恵美子 堀内静子 松本裕子 峯島信行 村本栄子 持原道子
山尾春美 山口康文 藤原金太郎・貴美子

■団体会員

木まま工房 杉の茶屋 泊書店 屋久島ガス株式会社 屋久島町手をつなぐ育成会

喫茶コーナー



『ウラバナシ』

喫茶にはたま～に外国の方が来られます。たいていは片言の日本語を喋りますが、話しかけられるとやはりドキドキしますね。日本に留学して1年半というアメリカ人の男性がメニューにあった文字を指差して「マツチャクダサイ」と言われた時は、漢字も読めるんだ！とビックリでした。

でも一度、全く日本語を喋れないと言う男性が、地図と辞書を持って、尾之間温泉に行く道を尋ねてきました。アタフタしていたら隣の事務局にいたTさん登場。案内はTさんにおまかせすることに・・・（さあ、いよいよTさんの英語力発揮できるぞっ）と内心思っ様子を見てみると、地図とじゃがいものおうちの前の道路を指差して、「イマココデス・・・ココヲマッスグイッテ、ヒダリニマガリマス・・・ズットイクトシンゴウキガアルノデ、ソコヲマッスグイクトオノアイダオンセンデス、OK？」相手は「OK！」私は????? Tさんの完璧な日本語と身振り手振りで彼も理解したのでしょうか？ホツとしながらも、同じ人間言葉は通じなくても、気持ちは通じるんだなと感じました。が、ホントにあの外人さんが理解したかどうかは不明です(^_-)- Tさん、また同じようなことがあったら、お願いしますねっ。

今回は『喫茶部のウラバナシ』でした m(_ _)m

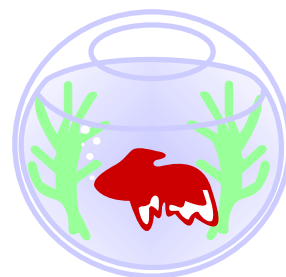
(安藤 多鶴子)

新会員のご紹介 みなさんよろしく

大山正典さん(小瀬田)

山本晃司さん(楠川)

渡邊安美さん(尾之間)



感謝録 (3月21日～6月27日 敬称略・順不同)

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。(じゃがいものおうち、みんなのおうち)

田中和彦 田中ヤスヨ 長谷川英紀 稲場輝雄 飯田かおる 日高典子 小林聖美 太田美代子
野元季夫 山田由紀子 岩川絹子 松本活栄 畑下和子 平瀬恵子 神崎彩子 日高ユキ子
古賀早苗 松本裕子 鈴木裕子 楯陽子 新貝ひとみ 黒崎紘子 日高ヨリ 梶野かおり 松本洋
稲見風子 笹川芳子 藤村いち子 大原貞子 古居節子 四宮澄子 山口秋平 鎌田一隆 渡辺一夫
溝口栄作



濃厚な果汁がたっぷり

タンカンジュース 1本(500ml) 850円
(会員価格600円)

※お好みに応じ、倍以上に薄めてお飲みください

編集後記

今年の屋久島は出口の見えないトンネルをトボトボと歩いているような長梅雨、人生においてもこのような時は多々あります。その時人は何を思い、何を考え歩くのでしょうか。

私は簡単です。「出口を信じてただ歩く！」。こう言うと妻は「あなただけ行って下さい」という。見通しが見つからないと人は安心できないものです。「じゃがいも通信」の役割は、活動の趣旨、内容、動きを、会員の皆様に、また読んでくれている方々に優しく伝えてゆくことです。一人でも多くの方々に伝わるよう、心あらたに努めてゆこうと思っています。

(楯篤雄)